

しいきアルゲリッチハウス

2015年、ピアニスト マルタ・アルゲリッチを顕彰し、アルゲリッチ専用ピアノ「マルティータ」と共に「アルゲリッチハウス」が財団名誉理事 椎木正和氏より寄贈されました。



©Hotta Rikimaru

アルゲリッチハウスが描く未来

「しいきアルゲリッチハウス」は広く世界を眺めても、ここにしか存在しない唯一無二の、クラシック音楽界の巨匠マルタ・アルゲリッチを顕彰する「家」として誕生しました。

アルゲリッチのために贈られたこのハウスは、大分県だけではなく世界のクラシック音楽界にとりましても、アルゲリッチと共に年月を刻む場所として、大切に育てていきたい「宝」です。

常に音楽に対して純粋な心で、今も探究を続けているアルゲリッチの家では、素晴らしい音楽家の方々が音楽の魂を吹き込んでくださっています。

アルゲリッチの私的な空間で150名の聴衆の方々と丁寧に創り、育み、バッハが語った「魂から魂へ」という音楽の真髄を、体現する場となっています。

そして、アルゲリッチを核として、クラシック音楽の歴史を紡ぐ大切な場であり、質の高い演奏と共に、心を育む教育の場として幅広い年齢層の方々と双方向で学ぶ場でもあります。

「社会での芸術の役割」を目的にMUSIC FESTIVAL Argerich's Meeting Point® in Beppu (別府アルゲリッチ音楽祭)を開催すると共に、教育プログラム「ピノキオコンサート」はアルゲリッチが語るように私たちの魂です。

また、未来を心豊かにという願いを込めて「未来プロジェクト」として、各界の第一線で活躍される方々の講演会も開催をしています。

芸術は哲学に共通する「人はいかに生きるのか」を学び、考えることのできる学問でもあり、「アルゲリッチの家」は皆さまと共に心豊かに成長する場所でありたいと思います。

ぜひ皆さまに、このアルゲリッチハウスの豊かな音楽の息吹きを、感じていただきたいと願っています。

別府アルゲリッチ音楽祭 総合プロデューサー 伊藤 京子
しいきアルゲリッチハウス プロデューサー



第26回 別府アルゲリッチ音楽祭 オープニング公演
2026年3月13日 開催決定
牛田 智大
ピアノ・リサイタル
詳細は11月発表予定

Blu-ray Disc
ENCOUNTER 出会い
クラシック音楽ベストセラー
Amazonで好評販売中!! ¥4,400 (税込)
インタビューと舞台裏を追ったドキュメンタリー作品と本公演を収録

公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団
〒874-0903 別府市野口原 3030-1 しいきアルゲリッチハウス
TEL. 0977-27-2299 (受付時間: 10:00~18:00 / 定休日: 土・日・祝日)

最新情報はこちらから
アルゲリッチ芸術振興財団
https://www.argerich-mf.jp



【主催】別府アルゲリッチ音楽祭実行委員会 公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団
【後援】大分合同新聞社/朝日新聞大分総局/毎日新聞社/読売新聞西部本社/西日本新聞社/共同通信社大分支部/OBS大分放送/TOSテレビ大分/OAB大分朝日放送/エフエム大分/ゆふいんラヂオ局

2025 12.6 Sat.
竹澤 恭子
Takezawa
Kyoko
violin

©松永学

魂から魂へ
バッハが語った音楽の真髄



JOHANN SEBASTIAN BACH

2026 3.15 Sun.
小菅 優
Kosuge Yu
piano

©Takehiro Goto

2025-26
しいきアルゲリッチハウス室内楽シリーズ

Shiiki presents Argerich's Haus chamber music series

2026 7.11 Sat.
上野 通明
Ueno Michiaki
cello
北村 朋幹
Kitamura Tomoki
piano

©Seiji Okumiya

©TAKA MAYUMI

魂から魂へ バッハが語った音楽の真髄

「音楽は世界共通語であり、翻訳される必要がない。魂から魂に働きかけるのだ」 J.S. バッハ

アルゲリッチが最も興味をいだくバッハの音楽～ポリフォニーと音楽家としての心情。
レジデント・アーティストが贈る音楽にどのような思いが込められていくのか。
音楽の父、バッハの言葉から音楽の真髄を感じていただけることでしょう。

Vol. 30

2025 12/6 [土]

開場 13:20
開演 14:00
終演 16:00

Vol. 31

2026 3/15 [日]

開場 13:20
開演 14:00
終演 16:00

Vol. 32

2026 7/11 [土]

開場 13:20
開演 14:00
終演 16:00

バッハと共に歩む意味



たけざわ きょうこ ©松永学
竹澤恭子 (ヴァイオリン)

しいきアルゲリッチハウス レジデント・アーティスト

桐朋女子高校音楽科在学中に第51回日本音楽コンクール第1位、1986年第2回インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで圧倒的な優勝を飾る。これまで、ニューヨーク・フィル、ボストン響、ロンドン響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ロイヤル・コンセルトヘボウ管等と、また、マズア、メータ、デュトワ、小澤征爾他、多くの指揮者と共演。フィルハーモニア管のスペインツアー、ハンブルク北ドイツ放送響の日本ツアー、東京フィル100周年記念ワールドツアーのソリストに招かれた。また、教育活動にも力を注ぎ、国際コンクールの審査員も数多く務める。また、アスペン、ルツェルンといった世界的な音楽祭にも出演を重ね、最近ではセイジ・オザワ松本フェスティバル、別府アルゲリッチ音楽祭へも参加。1993年出光音楽賞、1999年度愛知県芸術文化選奨文化賞、2021年大府市民栄誉賞、2025年第78回中日文化賞を受賞。使用楽器は、1724年製アントニオ・ストラディヴァリウス。現在、東京音楽大学教授、桐朋学園大学特任教授、洗足学園音楽大学客員教授。

伊藤京子によるレクチャー 13:40~

- J. S. バッハ
無伴奏ソナタ 第1番 ト短調 BWV1001
J. S. バッハ
無伴奏パルティータ 第1番 口短調 BWV1002
J. S. バッハ
無伴奏ソナタ 第2番 イ短調 BWV1003

「祈りと魂とともに〜バッハ無伴奏への旅」
竹澤恭子によるメッセージはホームページに掲載中



©脇屋伸光

探究する喜び



こすげ ゆう ©Takehiro Goto
小菅優 (ピアノ)

しいきアルゲリッチハウス レジデント・アーティスト

2005年カーネギーホールで、翌06年にはザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。ドミトリエフ、デュトワ、小澤らの指揮でBBC響やNDR北ドイツ放送フィルと共演。10年ザルツブルク音楽祭でボゴレリッチの代役として出演。その後も世界的な活躍を続ける。14年に第64回芸術選奨音楽部門文部科学大臣新人賞、17年に第48回サントリー音楽賞受賞。録音は、ソニーから発売している『藤倉大: ピアノ協奏曲<インパルス> & WHIM/ラヴェル: ピアノ協奏曲ト長調』(第77回文化庁芸術祭優秀賞受賞)をはじめ数多い。17年から4年にわたり、4つの元素「水・火・風・大地」をテーマにしたリサイタル・シリーズ『Four Elements』を開催し好評を博したほか、様々なベートーヴェンのピアノ付き作品を徐々に取り上げる企画「ベートーヴェン詣」にも取り組む。23年よりピアノ・ソナタに焦点をあてた新プロジェクト「ソナタ・シリーズ」を開始。

伊藤京子によるレクチャー 13:40~

小菅優 ソナタ・シリーズ(最終回) 『黄昏』

- W. A. モーツァルト
ピアノ・ソナタ 第18番 二長調
C. M. ウェーバー
ピアノ・ソナタ 第4番 ホ短調
F. シューベルト
ピアノ・ソナタ 第21番 変口長調 (遺作)

「ソナタ・シリーズ(最終回)『黄昏』」
小菅優によるメッセージはホームページに掲載中



©脇屋伸光

音楽と祈り



うえの みらあき ©Seiji Okumiya
上野通明 (チェロ)

しいきアルゲリッチハウス
レジデント・アーティスト

2021年ジュネーヴ国際音楽コンクール・チェロ部門日本人初の優勝。その他13歳で若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール日本人初の優勝、ヨハネス・ブラームス国際コンクール優勝など、国際舞台で次々と活躍し話題となる。これまでにワルシャワ・フィル、ロシア国立響、スイス・ロマンド管、KBS響、都響、読売日響、新日本フィル等国内外の主要オーケストラと共演。日本製鉄音楽賞(フレッシュアーティスト賞)、ベートーヴェン・リング賞、出光音楽賞、ホテルオークラ音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。P. ウィスベルウェイに招かれ19歳で渡独。その後エリザベート王妃音楽院にてゲラーリ・ホフマンに師事。楽器は、1730年製A. Stradivarius "Feuermann" (日本音楽財団)、弓はF. Tourte (住野泰士コレクション)を貸与されている。



レジデント・アーティスト
就任式より (2025年5月)



きたむらともき ©TAKA MAYUMI
北村朋幹 (ピアノ)

東京音楽コンクールにおいて第1位ならびに審査員大賞受賞をはじめ、浜松、シドニー、リーズなどの国際コンクールで入賞。独自のプログラミング・センスで展開するソロリサイタルをはじめ、オーケストラとの共演、室内楽、古楽器による演奏活動を日本とヨーロッパ各地で定期的に行っている。録音は、6タイトルのソロアルバムをフォンテックよりリリースし、「リスト 巡礼の年 全3年」ほかの成果により、令和6年度(第75回)芸術選奨 音楽部門 文部科学大臣新人賞を受賞。そのほか第76回文化庁芸術祭賞レコード部門優秀賞、第22回佐治敬三賞を受賞。東京藝術大学に入学後、ベルリン芸術大学ピアノ科で学び最優秀の成績で卒業。フランクフルト音楽・舞台芸術大学では歴史的奏法の研究に取り組んだ。ベルリン在住。

伊藤京子によるレクチャー 13:40~

- J. S. バッハ
ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソナタより
権代敦彦
無言のコラール集
L. パーンスタイン
ミサ曲より3つの瞑想曲
F. メンデルスゾーン
チェロ・ソナタ 第2番 二長調 他

master class

2025 12/7 [日]

開場 12:30
開演 13:00

竹澤恭子 公開ヴァイオリン・マスタークラス



©脇屋伸光

講師：竹澤恭子 (ヴァイオリン)

master class

2026 3/14 [土]

開場 17:30
開演 18:00

小菅優 公開ピアノ・マスタークラス



©脇屋伸光

講師：小菅優 (ピアノ)

*マスタークラス受講生は後日発表

チケット販売：10月1日(水) 10:00~

《全席指定》1公演券 6,000円(税込) 《Vol.30,31,32》3公演セット券(3枚組) 15,000円(税込) 《セット券だとお得》 マスタークラス(2公演) 《全席自由》各公演1,500円(税込)

電話 アルゲリッチ芸術振興財団 TEL. 0977-27-2299 受付時間：10:00~18:00 定休日：土・日・祝日

インターネット ご登録、お申込みはこちらから **アルゲリッチオンラインチケット**
事前の登録(無料)が必要です <https://ticket.aserv.jp/argerich/>
Android搭載のフィーチャーフォン(ガラホ)はクレジットカードが利用できません。携帯サイト <https://ticket.aserv.jp/argerich/m.do>
但し、フィーチャーフォン(ガラケー)からの購入はできません。

プレイガイド トキハ会館 TEL.097-538-3111 *店頭販売のみ
トキハ別府店 TEL.0977-23-1111 *店頭販売のみ
エトウ南海堂 TEL.097-529-7490 *配達対応可能

◆曲順や曲目は変更になる場合があります。◆事情により出演者・公演内容等が変更になることがあります。公演中止の場合を除きチケット料金の払戻しは致しませんのでご了承ください。公演中止・延期等によりチケットの払戻しが発生する場合は、一定の期間を設け対応致します。払戻しとなった場合でもチケット代金以外の費用(交通費・宿泊費・通信費等)については、払戻しの対象外とさせていただきます。◆一度購入されたチケットの返金交換等はできません。◆未就学児のご入場はご遠慮ください。◆車椅子でお越しのお客様、付き添いのお客様のお問合せ・お申込みは財団事務局に限ります。お申込みは10月1日(水)10:00より電話(☎0977-27-2299)にて受付致します。◆しいきアルゲリッチハウスは平土間のため、座席の段差がありません。そのため演奏の様子が見えづらいお座席があります。予めご了承ください。

伊藤京子によるレクチャー 《Vol.30,31,32 各回13:40~》

コンサート前の特典企画。作品や作曲家、演奏者の思いなど、音楽を深く知ることができる貴重な機会です。

伊藤京子
ピアニスト/公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団 副理事長/
別府アルゲリッチ音楽祭 総合プロデューサー/しいきアルゲリッチハウス プロデューサー
福岡県出身。東京藝術大学附属高等学校から東京藝術大学、フランクフルト音楽大学卒業。
1977年プゾーニ国際コンクール第3位入賞。シノーポリ、アルゲリッチとの共演をはじめとする演奏活動と共に94年から大分県での音楽事業に携わる。講演、執筆等活動は多岐にわたる。2018年、第77回西日本文化賞を受賞。24年1月、大林財団より、芸術を核とした社会貢献、大分から世界への芸術文化の発信、地域振興に寄与した功績でアルゲリッチ、伊藤、財団の3者が第13回大林賞受賞。



©脇屋伸光

*室内楽シリーズ Vol.30-32の開催時間はこれまでの15時から14時へ変更になりました。